



ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary Club



ROTARY : MAKING A DIFFERENCE  
2017 - 18 年度国際ロータリーのテーマ

## 新年あいさつ

平成 30 年 1 月 17 日 (水)

「新年あけましておめでとうございます」会員の皆様におかれましてはご家族おそろいで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。

平成30年は平成年号最後の年になります。来年の春、今上陛下の退位、新天皇の即位があり新しい年号になります。平成最後の年、思いを込めてロータリー活動を精一杯務めてまいりたいと考えています。

高砂青松クラブにおかれましては都倉達殊会長、青木裕加幹事のもと公式訪問を始め前期の事業が滞りなく遂行されたと拝察いたします。後半も引き続き「奉仕の理想」を追い求めて活動していただきたいと思ひます。昨年10月5日に開催しましたポリオプラスチャリティコンペ東播第2グループ大会には濱中幹雄会員はじめ高砂青松クラブの皆様にはコンペの準備運営から協力をいただき、また大勢の参加をいただき、大会を盛り上げていただき、その上多額のチャリティー募金をいただき目標の募金額達成に大いにご協力いただき有難うございました。

I.M.ホストクラブである我がクラブでは年度当初よりI.M.実行委員会を立ち上げ西中実行委員長のもと準備を進めていただきました。いよいよ年が改まり2月3日(土)“ウェディングパレス鹿島殿”鹿島の森においてIntercity Meetingを開催します。Enjoy Rotary & Unite “ロータリーを楽しもう、そして団結”をテーマとし、ロータリーを楽しみながら親睦と団結を深めるI.M.にしたいと考えています。このI.M.を通じて次年度矢野ガバナーをグループ5クラブで盛り上げていこうではありませんか。本日はプログラム、講師紹介パンフレットを配布しています。当日は皆様にはお世話になりますようお願ひいたします。

ガバナーからの地区大会参加のお願いです。地区大会が3月10日、11日の日程で神戸ポートピアホテルにて開催されます。「地区大会はロータリアンのお祭りです、大いにロータリーを楽しみましょう」とガバナーは言われています。いろいろな趣向をこらしての準備万端整えているとお聞きしています。皆様多数のご参加いただきますようお願ひいたします。

最後になりましたが、本日までご臨席の皆様、そして会員の皆様にとりまして新しい年がご健勝とご繁栄をもたらしますようご祈念申し上げますとご挨拶いたします。ありがとうございました。



国際ロータリー第2680地区  
東播第2グループ ガバナー補佐  
庄司 武様

## 柔の道でスラムから抜け出す

平成 30 年 1 月 17 日(水)

スラムから抜け出すための柔の道。若者たちはリオデジャネイロの貧困街で、オリンピックを夢見る。

16才～21才の若者34人がマットの上で輪になって座っています。皆、はじめは引っ込み思案でも、柔道に対して少しずつ心を聞いていきます。

リオデジャネイロのスラム街、モロダマンガイラに住むルーカス・フェレイラさんは次のように話します。「柔道を始める前、8歳の私は当てもなく通りをうろつき、ひどい仲間とつきあっていました」。

彼はいま20歳。結婚もしています。

10歳で柔道に出会ったルナン・アルベスさん(現在19歳)は、はにかみながら早口で話します。「子どものころ、将来は麻薬密売人になりたいという恐ろしい考えをもっていました。でも柔道が別のドアを開いてくれたんです。柔道は、よき市民として、ブラジルのために闘う道を教えてくれました」。

リオデジャネイロのロータリークラブから支援を受けているこの柔道チームには、周囲のスラム街からやって来た若者300名がおり、フェレイラさんとアルベスさんも同様です。コーチをしているジョアン・ルイス・ミランダさん(Rio de Janeiro-Rio Compridoロータリークラブ会員)は、助手の力を借りながらチームを組織するために奮闘しています。若者たちにとって、チームでの経験は、暴力と犯罪の日々から抜け出す道を提示するものです。

以前リオデジャネイロで警察官をしていたというミランダさんは、1998年に子どもたちの支援プログラムに参加しました。しかし、彼は挫折。「子どもたちの状況は結局、元に戻ってしまい、プログラムは助けにならないと感じました」。

翌年彼は、警察でスポーツプログラムを設置することを上司に提案。練習生わずか3名で始まったプログラムは、その後急速に発展しました。今日、チームはサッカーのクラブ施設で練習し、3～13歳のちびっ子メンバーは近くの教会で練習しています。

オリンピックの有力候補者に

ビトリア・ピニエイロさんは、2020年のオリンピックを目指して毎日練習しています。彼女にとって柔道は、負のエネルギーからポジティブな目標へと視線を変える助けになるものです。そんな彼女は、インターアクトクラブの会員でもあります。

「私は反抗的な若者でした。誰の言うことも聞こうとしませんでしたから」

ビトリア・ピニエイロ (Forca Jovem Judo・CFCインターアクトクラブ会員)



ロータリー情報委員会  
濱田 喜重委員長

空腹で気を失っても不思議じゃなかった

チームとして常に成功の道のりを歩んできたわけではないと、警察官を引退し、ボランティアで柔道を教えてきたミランダさんは話します。「6年前までは最高でも15位だったんです。選手もトレーナーも優秀ではありましたが、でも子どもたちは、空腹で気を失っても不思議じゃないような状態だったのです」

その後、ロータリークラブの支援によって選手たちのパフォーマンスは変わりました。クラブは地元の食糧バンクと協力し、食べ物を毎月、チームメンバーとその家族に提供しました。

また、ロータリー第4570地区の17クラブによってユニフォーム代と競技登録料が賄われ、筋力トレーニング設備も設置されました。彼らは、オリンピック武道競技のための支援を行っているロータリーグループ(GRAAMO)と協力し、地元レストランの使用済み食用油をリサイクル工場に売って資金を調達しました。フランスのINEO do Brasil Engenharia e Sistemas社もチームの主なサポーターです。

「私たちの目標は、何かよいことへの道と、犯罪以外の選択肢を子どもたちに示すこと」

ジョアン・ルイス・ミランダ (ロータリー会員&柔道コーチ)



## 委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

### ■ 40周年実行員会

記念誌に写真で振り返るコーナーを作りますので、会長・幹事経験者の方は準備をお願いします。



クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川ロータリークラブ	例会変更	1月30日(火)→2月3日(土) 東播第2グループI.M.のため
加古川平成ロータリークラブ	例会取り止め	1月31日(水)
	例会変更	2月7日(水)→2月3日(土) 東播第2グループI.M.のため
	休会	2月14日(水)
	例会変更	2月21日(水) 地区補助金プロジェクト発表会のため 17:00～に変更
高砂ロータリークラブ	例会変更	2月2日(金)→2月3日(土) 東播第2グループI.M.のため
加古川中央ロータリークラブ	例会変更	2月8日(木)→2月3日(土) 東播第2グループI.M.のため

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報の方が早く把握できます。

ニコニコ報告 Donation

都倉 達殊

今日は、濱田前会長にロータリー情報の卓話をして頂きます。久しぶりのご登壇、楽しみにしていますので頑張ってください。

東播第2グループ ガバナー補佐

庄司 武様

新年のご挨拶に参りました。今年もよろしくお願いいたします。

濱田 喜重

本日は卓話をさせていただきます。ロータリー情報とはほど遠い話になると思いますが、よろしくお願いいたします。

廣瀬 明正

正月の行事等も15日で終わり、今年のはじめての外出です。本年もよろしくお願いいたします。濱田会員の卓話楽しみにしております。

小西 文孝・櫻井 宣孝・柿木 國夫  
田中 浩行・伊藤 勝之・青柳 淳  
今年もよろしくお願いいたします。

中谷 利幸・田中 伸明・佐野 栄作  
村上 則宏

本日、庄司ガバナー補佐の公式訪問です。庄司ガバナー補佐ごくろうさまです。又、本日の濱田会員卓話楽しみにしています。

西田 光衛・松下 和雄

結婚記念日の御祝ありがとうございます。

増田 耕太郎・澤田 孝彦・吉川 弘

花をかざりましょう。

内海 薫・井野 隆弘

早退致します。



幹事報告 Secretary

幹事報告 第26回(通算1757回)

- 加古川平成 RC より  
地区補助金プロジェクト 県立農業高校学生発表会をかねて廃鶏を用いたスモークチキン・スモークソーセージの試食会が行われます。  
日時 2月21日 17:00～17:50  
場所 加古川プラザホテル2F「相生の間」  
参加費 4,000円  
参加希望者は事務局までご連絡下さい。  
詳細は回覧します。
- 地区より  
(1) コーディネーターニュースが届いております。回覧します。  
(2) 地区委員推薦のお願いが届いています。回覧します



例会記録 2018.1.17 (水) 通算 1873 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」  
出席報告 1月20日 会員数43名 欠席者 4名 出席率 93.00% (修正による)  
(この内出席免除者 11名)  
1月17日 会員数44名 欠席者 8名 実出席者数 36名  
(この内出席免除者 11名) 出席率 81.82%

本日のゲスト 国際ロータリー第2680地区 東播第2グループ  
ガバナー補佐 庄司 武様

来訪ロータリアン 坂元 宣之会員(姫路南R.C.) 星島 延男会員(姫路R.C.)  
(1月24日分)



◆ プログラム予定 ◆

1月31日(水)

職場例会  
Jパワー 12:30～  
【職業奉仕委員会担当】

2月3日(土)

東播第2グループI.M.  
於:ウェディングパレス鹿島殿

2月14日(水)

創立40周年記念  
及び  
I.M.実行委員会(第6回)

2月21日(水)

会員卓話  
菱田 克己 会員

昼食メニュー  
幕の内弁当

## 会長の時間 President

今年は明治維新から150年という節目の年です。NHKの大河ドラマも西郷隆盛による「西郷どん」が始まっています。

ジャーナリスト櫻井よしこ氏の対談記事で「日本の活路をどう拓くか」という内容のなかで言われていたことを紹介します。

今日本が直面していることは、戦後の庇護国だったアメリカが内向きになり、片や中国は野望に満ちた国となり抜き差しならない国際情勢になってきています。

我が国が生き延びるためにどうしたらいいかと考えた時、幕末とは違い経済力はある、憲法で制限されているとはいえ軍事力もないことはない、情報もある。

でも、確実に失ってしまったものがあります。それは日本人としての気概であり、状況を直視して打つべき手を打つ現実感覚です。

悲しいことに「日本国を自分たちの手で守る」「北朝鮮有事の際、拉致被害者は自衛隊が救出する」のが当たり前であるという感覚すらなくなってしまっている。

今後、アメリカから「自国は自国で守って下さい」と突きつけられてしまったら、何も打つ手はありません。これだけ豊かな資源やお金、技術があり、正直で働き者の人間がいて、それこそ中国が欲しいものが山のように積み重なっている日本が、こと国防となると自力では何もできない。一日も早い憲法改正とともに、国民自ら日本を守るという気概を取り戻さない限り、この危機は乗り越えられないと思います。

憲法改正をするとしたら、2018年しかないでしょう。2019年は天皇陛下のご即位と新天皇のご即位、地方選挙、G20開催、それとなんとといっても参議院議員選挙があります。これだけ重要な国事が連続している中での憲法改正の発議や国民投票はできないでしょう。そうすると憲法改正のチャンスは2018年しかないということになります。

かつて大きなビジョンを描いた明治維新の先人たちにならい、この機を活かして自立を目指した国家戦略を意識的に考えなくてはいけない時に来ているのです。

今年はその議論が活発に行なわれることを大いに期待をしたいものです。



本日の食事 — 洋食弁当 —

会長 都倉達殊 幹事 青木裕加 クラブ会報委員長 佐野栄作

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500